

TAKE FREE

NORII ARUKI WALK AND LOOK  
あ

# LOOK

第5号

№005

A-LOOK YORII

寄居を見て、歩く まちなか情報紙

あっLOOKは寄居町が発行するまちなか情報紙です。寄居町は埼玉県北部に位置する、歴史と名水のまち。表情豊かな自然の中に、古いものと新しいものが混在しています。そんな寄居町のさまざまな情報を皆さんにお届けします。寄居を歩き、町を見て、皆さんのお気に入りを見つけてください。

CONTENTS

- P2 桜めぐりをしよう
- P3 春から初夏の花暦
- P4・P5 知りたい！鉢形城
- P6 川で遊ぼう！
- P7 心が弾む甘味
- P8 七福神めぐりをしてみよう

寄居で見つける  
季節の入口



# 桜めぐりを

# しよう



## 氏邦桜（鉢形城の桜・エドヒガン） 町に春を告げる桜

町を代表する桜である『氏邦桜』は、町の天然記念物に指定されています。樹齢150年を超えるといわれる桜の樹高は18m、枝張り東西23・5m、南北21・8mという庄巻の姿を見せながらも、やさしく色づき、町に春の訪れを告げます。愛称の「氏邦桜」は、鉢形城主・北条氏邦にちなんで名づけられました。近くには町の花であるカタクリが咲き、春風に揺れ、妖精のようです。

場所：鉢形2496-2

電話：048-586-0315（鉢形城歴史館）

長かった冬が終わり、春の訪れを告げる桜が咲き、町のあちらこちらがピンク色に染まります。寄居町は「一年中さくらに出会える町」。特に春は様々な品種の桜が花をつけ、見る人を楽しませます。どんな桜に出会えるのか期待しながら、少し町を歩いてみませんか。

## 寺山さくら農園



場所：折原（遣遣の郷となり）

電話：090-6106-2849（一年中さくらに出会える町よりい実行委員会 会長 大久保）

寺山さくら農園は「一年中さくらに出会える町よりい実行委員会」や地域の方が整備している農園で、広大な敷地に陽光桜など400本以上の桜が一面に広がります。鮮やかな色をした桜と淡い色の桜が織りなす景色はまるで桃源郷。園内を歩くと、目に映るのは青空と桜だけで、別世界に踏み込んだような気分を味わうことができます。

## 三ヶ山緑地公園



場所：三ヶ山368

男衾自然公園は、地域の方が整備している自然を生かした里山公園で、17種類、1000本以上の桜が植えられています。中でも「男衾桜」と名付けられた桜が園内を美しく彩ります。標高171mの山頂からの眺望は素晴らしく、北関東にある日本百名山の山々を望むことができます。園内ではカタクリや萩、紅葉や冬桜など、四季を通じて、花を楽しむことができます。

## 男衾自然公園



場所：富田

電話：090-3903-2022（男衾自然公園管理組合 代表 福島）

埼玉県環境整備センターの敷地内にある三ヶ山緑地公園には防災調整池を囲むように桜が植えられ、桜並木となっています。道路を覆うように枝を伸ばした様子はさながら桜のトンネルで、やわらかな光の中を歩くことができます。また、池の周辺に設置されている水辺テラスにはベンチがあり、きれいに並んだ桜と空を映す青い池、泳ぐカモをのんびり眺めることができます。

鐘撞堂山の名称は鉢形城の見張り山として、異変が生じると鐘を撞いて知らせていたことに由来しているとされています。日帰りでハイキングできる標高約330mの低山には4つのコースがあり、山頂からは関東平野を一望できて人気があります。春になると、登山道沿いと展望台や東屋がある山頂に桜が咲き、美しい眺望との組み合わせが楽しめます。

## 鐘撞堂山





# 知りたい！



# 鉢形城

鉢形城は、戦国時代の代表的な平山城で、荒川と深沢川に挟まれた断崖絶壁の上に築かれた、天然の要害でした。その様子は戦国時代の連歌師万里集九に「鉢形城壁は鳥も窺い難し」と謳われるほどで、現在も玉淀河原には当時を感じさせるような情景が広がります。

## 歴史

鉢形城は、文明8年(1476)に関東管領であった山内上杉氏の家臣長尾景春が築城したと伝えられています。後に、この地域の豪族藤田泰邦の養子となった、小田原の北条氏康の五男氏邦が整備拡充し、現在の大きさとなりました。関東地方において有数の規模を誇ることから、北条氏の北関東支配の拠点として、さらには甲斐・信濃からの侵攻への備えとして重要な役割を担いました。

天正18年(1590)の豊臣秀吉による小田原攻めの際、前田利家・上杉景勝らの率いる5万人の軍に包囲され、攻防戦を展開しました。北条軍はわずか3500人の兵力で、一カ月余りにおよぶ籠城を続けましたが、最後は城兵の助命を条件に開城しました。その後、廃城となったと伝わっています。

## 国の史跡指定

江戸時代以後の造成等による破壊から免れ、土塁や堀、曲輪等が形状をよくとどめていることから、戦国時代の代表的な城郭跡として、昭和7年に国指定史跡となりました。また、鉢形城跡は「日本100名城」(平成18年、日本城郭協会認定)などに選出されています。

## 見どころ

### 鉢形城公園

鉢形城跡では状態がよく残った、堀や土塁によって区切られた本曲輪や二の曲輪などの空間を見ることができます。発掘調査による成果をもとに、馬出や堀・土塁の復元整備が進められ、三の曲輪では戦国時代の築城技術を今に伝える石積み土塁や四脚門、池などが復元されています。また、園内の遊歩道は、桜並木や深沢川が織りなす溪谷やカタクリ群生地、寄居町指定天然記念物鉢形城の桜・エドヒガンの元を巡り、四季折々の景観が楽しめる公園となっています。

### 鉢形城歴史館

鉢形城歴史館は鉢形城の外曲輪の一角にあり、鉢形城の歴史を中心に、地域の文化・歴史を学ぶことができる施設です。常設展では年表や、映像、250分の1スケールの復元模型などで歴史を知ることができます。また、ここでしか手に入らない御城印は300円で販売されており、100名城スタンプも設置されています。



▲鉢形城本丸跡の碑  
鉢形城の中心である本曲輪にあります。



▲石積み土塁  
三の曲輪にある復元された石積み土塁

## 寄居北條まつり

町を代表するお祭りのひとつである「寄居北條まつり」は、天正18年(1590)に鉢形城に籠城した北条軍が、5万人の豊臣軍を相手に、わずか3500人の兵力で1ヶ月余りにわたって続けた攻防戦を再現したお祭りです。手作りの甲冑を身にまとった武者行列が、まちなかを練り歩き、玉淀河原へ向かいます。河原では鳴り響く大砲の中、北条軍と豊臣軍の攻防戦や一騎打ちが繰り広げられ、戦国時代の合戦を間近で感じることができます。



### 鉢形城歴史館

場 所：鉢形2496-2  
電 話：048-586-0315  
開館時間：9:30~16:30 (入館は16:00まで)  
休 館 日：月曜日(祝日の場合は翌日)、祝日の翌日、年末年始  
入 館 料：一般200円、高校生・大学生100円、70歳以上・障がい者手帳をお持ちの方、中学生以下は無料



▲歴史館HP

## 姉妹都市との観光連携

戦国の世にありながらも、兄弟争うことなく、五代百年にわたり小田原城を拠点に関東を治めた北条氏の初代早雲、二代氏綱、三代氏康、四代氏政、五代氏直を北条五代といい、領国において理想の国家を作るため、「民を豊かにし、国を豊かにする」とし、経済振興や文化奨励などの善政が敷かれました。

三代氏康の次男で四代当主氏政は「小田原城」へ配置され、三男氏照は「八王子城」、五男氏邦は「鉢形城」とそれぞれの城を良好な関係のもとで統括していました。この史実に基づき、寄居町は小田原市と八王子市と姉妹都市の盟約を締結しています。

寄居町はこの姉妹都市を含む北条氏にゆかりのある14市町の行政及び観光協会が連携し、北条五代観光推進協議会として、北条氏の偉業や魅力を活用した観光事業を展開しています。その活動の一つとして、北条氏の魅力を全国へ広く発信するため、『「北条五代」を大河ドラマに!』という署名活動を行っており、連携自治体の窓口やオンラインでの署名を受け付けています。



▲復元四脚門



「北条五代」を大河ドラマに!

北条氏照



北条氏邦



北条早雲



▲町公式HP

# 風雲 Yotte GO!

## 謎解き寄居町

### ▲ 鉢形城攻防戦 ▲

AR等のデジタル技術を活用した観光アプリ「風雲 Yotte Go! 謎解き寄居町～鉢形城攻防戦～」は、鉢形城跡や市街地を中心とした観光スポットの紹介や、籠城戦ゲームや宝探しイベントなどを楽しむことができるコンテンツです。

こんなことができます!

#### ● 観光スポット紹介



アプリのマップ画面で、観光スポットやおすすめコースを表示します。観光スポットを回るスタンプラリーもできます。

#### ● 周遊宝探し



アプリに表示される謎(クエスト)を解き、現地を探索することで、ポイントが獲得できます。正解の場所ではARで宝箱が出現し、楽しく寄居町を周遊できます。

#### ● 籠城戦ゲーム

次から次へと出現する敵兵をタップして倒します。成績がスコア化され、ランクアップを目指し、鉢形城公園の各地点で戦います。



#### ● 鉢形城復元CG



鉢形城歴史館の鉢形城地形模型に設置したマーカーをアプリで認識すると、天正18年の鉢形城攻防戦の様子や5カ所の復元CG360度画像を見ることができます。

#### ● 攻防戦再現

鉢形城歴史館内の鉢形城ワープステージ上をアプリで読み取ると、鉢形城攻防戦の様子をフルCGで見ることができます。

#### ● 戦国武将AR出現

小田原城攻防戦に参加した武将がARで出現し、一緒に記念撮影できます。鉢形城主・北条氏邦は3Dで出現します。



鉢形城の解説補助機能など、ほかにもさまざまな機能があります。

問い合わせ先: 生涯学習課、プロモーション戦略課  
電話 048-581-2121



▲町公式HP

ダウンロードは  
こちらから



# 川で遊ぼう！



## かわせみ河原

かわせみ河原は町の中央部を流れる荒川の河川敷で、釣りやカヌー、キャンプなどを楽しむ方で賑わうアウトドアスポットです。最大で約400台の車両を駐車できる河原は、フリーサイトになっていて、車のそばで川の流れを眺めながらキャンプをしたり、わいわいバーベキューをしたりと、思い思いの過ごし方ができます。川の流れが穏やかで、風がないときは、対岸の木々と青空が川に美しく反射する様子を見られます。

場所：保田原地内  
 電話：080-2634-1112（株式会社まちづくり寄居）  
 時間：9:00～17:00（休業日：毎週水・木曜日）  
 環境美化協力金：二輪車（自転車・バイク等）：300円/日  
 乗用車（キャンピングカー等）：500円/日  
 マイクロバス等：1,000円/日  
 徒歩：100円/日  
 アクセス：東武東上線「鉢形駅」から徒歩約15分

1 埼玉県の西川材で作られた直径24.2mの大水車（水しぶきがすごい！）



2 荒川の源流から河口までの173kmの流れと地形を1000分の1スケールにした模型



3 博物館外壁に展示された、長さ21.6m、高さ5.04mの川合玉堂作、六曲一双の屏風絵「行く春」（重要文化財）を信楽焼にした大陶板画。  
 ※「行く春」は長瀬・寄居方面を訪れた玉堂が、荒川に浮かぶ船車をモチーフに描いた傑作。



かわはくで見ることが出来る

## 3つの日本一

敷地内には日本一を誇るものが3つ

敷地内にはウォーターアスレチック「荒川わくわくランド」があり、オリジナル遊具にチャレンジすることで、楽しみながら水の科学的性質（流力・浮力・圧力・抵抗）や治水、利水を学ぶことができます。

川や水と人々のくらしとの関わりを楽しみながら学べる体験型博物館です。  
 「荒川と人々のくらしとの関わり」をテーマとした第1展示室では、荒川の四季や祭事を3面パノラマ映像で観ることができたり、またかつて荒川で利用されていた「鉄砲堰」「船車」「荷船」の大型復元模型が展示してあります。大型復元模型では時間により実演や解説なども行われていて、実際に乗船したり展示に触ることが出来ます。第2展示室では年に数回企画展や特別展なども開催され、様々な角度から荒川について学ぶことができます。また、大画面に連動して座席が動くアドベンチャーシアターは、荒川やライン河などの川下りなどを疑似体験することができ、子どもから大人まで楽しむことができます。



場所：小園39  
 電話：048-581-7333  
 時間：通常期 9:00～17:00 ※入館は閉館30分前まで  
 夏休み期間 [平日] 9:00～17:00  
 [土日祝・8/11～15] 9:00～18:00  
 入場料：一般410円 学生200円 中学生以下無料  
 ※荒川わくわくランドとアドベンチャーシアター観覧は別料金  
 アクセス：東武東上線「鉢形駅」から徒歩約20分

初夏のレジャーといえは川遊びや河原でのバーベキューなどを思い浮かべる方が多いのではないのでしょうか。寄居町では夏を楽しむレジャーはもちろん、川に親しむコンテナツがたくさんあります。川で遊んで、夏の思い出のページにしませんか。

## 玉淀河原

玉淀河原は荒川の中流域にある河原で、広々とした浅瀬の奥には濃い淀みがあり、続く対岸に鉢形城跡の断崖絶壁を見ながら散策することが出来ます。毎年この風光明媚な河原では、町を代表するお祭りである「寄居北條まつり」や「寄居玉淀水天宮祭」が盛大に開催され、多くの方が訪れます。  
 河原の名前にある「玉淀」は、秩父山地から関東平野に移り変わる荒川流域の沿岸約3kmの地域の総称です。特徴的な地形を持つ奇岩・絶景の景勝地で、昭和10年に県指定の名勝として指定を受けています。名前は、水がゆるやかに流れる様子を、玉の色（翡翠のような淡い青緑色）に見立てた「玉のように美しい水の淀み」としたことに由来しています。その美しさに魅かれて、古くから多くの文化人がこの地を訪れていて、明治の文豪田山花袋は、紀行文「秩父の山裾」の中で、東京付近においてこれほど雄大な眺めを持つ峡谷はないと記しています。また、付近には、巨岩や奇岩が露出し、見事な河岸段丘が形成されています。



場所：寄居地内  
 ※現在バーベキューや車の乗り入れ不可

## 風布川

環境庁（現在の環境省）から「日本水」ともに名水百選に認定された「風布川」は、「日本水」を源流の一つとし、約6km流れて玉淀湖に注ぐ荒川の支流です。川沿いにある「日本の里」では、森林浴をしながら川遊びやバーベキューを楽しむことができます。その他にも、夫婦滝や姥宮神社の胎内くぐりなど、見どころが数多くあり、ハイキングもおすすです。



場所：風布、金尾地内

# 心が弾む甘味



食べることで季節を感じることや、季節の到来により食べたくなるっておきの甘味があるのではないだろうか。めくるめく甘味の世界。  
今回は、株式会社まちづくり寄居が発行した、寄居町のお店が掲載されている『まると！寄居』から、春夏に食べたくなること間違いなしの甘味をピックアップして紹介します。それぞれの美味しさをご堪能あれ。

あなたは何を食べる？



## 殿様のおやつ

伊勢屋では定番の和菓子や季節の和菓子などを提供しており、殿様のおやつは北海道小豆を使用した、つぶあんと求肥を巻いたどら焼きです。みたらし団子やいなり寿司などもおすすめ。



### 伊勢屋

場所：寄居1287-10  
電話：048-581-0262  
時間：9:30~18:30  
定休日：土・日曜日

## たいやき

たいやきあきちゃんは昔ながらのたい焼き屋さんです。十勝小豆で作ったあんこの甘みと香ばしい皮のバランスが絶妙なたい焼きのほか、フレンチドッグやたこ焼き、焼きそばも販売しています。



### たいやきあきちゃん

場所：寄居933-1  
電話：048-581-3947  
時間：10:00~16:00  
定休日：月・火曜日 ※7、8月は休業

## 玉淀煎餅醤油

一枚一枚丁寧に焼き上げた手焼きせんべいとこだわりの香ばしい醤油ダレを使用した玉淀煎餅醤油。ほかに、寄居産の金ごまを使用したごま煎餅や焼きのりなどもあり、詰合せも販売しています。



### 玉淀製菓

場所：鉢形266-5  
電話：048-581-7561  
時間：9:00~18:00  
定休日：木曜日

## ゴリゴリパフェ チョコミント

創業明治15年のこんにゃく、ところてんの老舗が営むカフェでは、こんにゃく入りのヘルシーなゴリゴリパフェチョコミントのほか、黒蜜きなこを使用したこんにゃくスイーツなどを楽しむことができます。

### GORIGORI CAFÉ

場所：桜沢482  
電話：048-581-0121  
時間：11:00~17:00  
定休日：平日 ※土日のみ営業  
令和6年は4月27日~9月末の期間営業

# 七福神めぐりを

## してみよう

福をもたらす神様とされている「七福神」をまつている寺院をめぐる、七つの福運を受けられるといわれているのをご存じですか。

寄居町には、武州寄居七福神が5つの寺院でまつられていて、ご神体が天井のない屋外にあり、像が大きいという特徴があります。最小の弁財天でも高さが約2mあります。最も大きいのは布袋尊で、地上高約6・5m、幅約5mで、笑顔は日本一大きいともいわれています。また、各寺には四季を通じて様々な花が咲くため、花めぐりを楽しむこともできます。

ハイキングコースは約25kmあり、7時間程度で歩くことのできる健脚向きです。公共交通機関等の利用もおすすめです。乗用車の場合、各寺院にある駐車場も利用できます。

### 象頭山・極楽寺



#### 弁財天

財運と学問、縁結びの福をもたらす女神

#### 毘沙門天

悪に立ち向かい財をもたらす神

場所：藤田 249  
電話：048-581-0528

### 大谷山・蓮光寺



#### 福祿寿

幸福・財宝・長寿の3つをつかさどる福の神

#### 布袋尊

子孫長久、家庭円満をもたらす神

場所：用土 798-1  
電話：048-584-2676



### 高浄山・長昌寺



#### 寿老尊

延命長寿、安全と健康を授ける福の神

場所：牟礼 401-1  
電話：048-582-0711

### 法雲寺・常光寺



#### 大黒天

生活の知恵を授ける豊作の神

場所：折原 605  
電話：048-581-2038

### 五眼寺・常楽寺

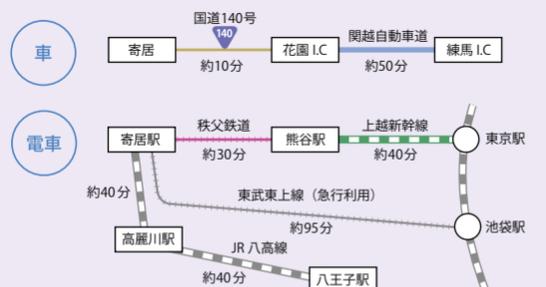


#### 恵比寿神

家門繁栄、商売繁盛の幸運を授ける神

場所：赤浜 860  
電話：048-582-0303

### アクセスマップ



### 編集後記

まちなか情報紙『あつLOOK』第5号を手にとった皆さまありがとうございます。昨年の11月に引き続きの発行となります。第5号では春夏を楽しむスポットや鉢形城の歴史などに焦点を当てながら、寄居町のまじりを紹介しました。今回、記事を書きながら、紹介した各スポットでの思い出がよみがえり、楽しかったり、感傷的になったりと色々な気持ちと呼び起こされました。行きたい場所に行き、何を感じたのか、どんな時間を過ごしたのか、何年後かにその場所をどんな風に思い出すのかは、お出かけをする楽しみの一つだと思います。花を見て癒されるのか、歴史にロマンを感じるのか、自然をより身近に感じる体験をするのか、美味しいものを食べるのか。この情報紙を手にとった方々が、町に興味をお持ちになり、お越しただいたときに、思い思いの素敵な時間を過ごしていただくと嬉しです。そして、この場をお借りして、発行に当たりご協力いただきましてありがとうございます。今後も町の魅力を知ってもらうために力を尽くしていきたいと思っております。今後よろしくお願いたします。



電子データはこちらから